

理科

(理科のノートに言葉や図、絵をかいてまとめてみよう)

*理科のノートに学習した日の日付を入れましょう

『動物のからだのはたらき1』(食べ物のゆくえ)

○人間はどのようにして養分をからだに取りこんでいるか考えよう。

【実験1】ご飯をつかって

ご飯・・・「でんぷん」でできています。

*人間は「でんぷん」をうまくからだにとり入れることができません。そこで、別のものにしてとり入れています。

○P34・35を見ながら考えてみましょう。

P34のご飯つぶにヨウ素をかけると青むらさきに変化した写真があります。これは、ご飯の中のでんぷんがヨウ素液で青むらさきに変化したからです。

○P35の実験は、本当に体の中に入ったでんぷんは別のものになっているかを確認する実験です。

①ご飯つぶをお湯にもみだして、でんぷん液(このでんぷん液にヨウ素液を加えるたのが写真①)を作り、試験管アとイに入れる。

②イにだけ、だ液を入れる。(どちらがどのように変化するか、想像してみよう)

③アとイをお湯の入ったビーカーで10分ぐらいあたためる。(お湯の温度は約40℃にします。なぜだと思いませんか?)

④アとイにヨウ素液を入れる。(写真②)

注:結果は写真②です。教科書イの写真より黄色がかっているのは、ヨウ素液のもともとの色です。

まとめ

実験から食べ物にふくまれている「でんぷん」は、口の中のだ液によって別の物に変化します。

歯などで細かくする

消化

だ液などで体に吸収されやすい養分に変えられる

【消化と吸収】

◎P37写真③を参考に「消化と吸収」について、自分なりにノートにまとめてみよう。

(なぜ小腸は、お腹の真ん中で「ぐにゃぐにゃ」曲がっているのか?自分の考えや調べてわかったことをノートにまとめてみよう)

◎「学びを生かして深めよう」のコイやウサギの消化管について、人間とちがうところを見つけ、その理由について自分の考えや調べてわかったことをノートにまとめよう。

(ヒント:食べているものと消化管には大きな関係があるんですよ)

【重要】消化についてノートにまとめてみよう

1:でんぷんが消化されて、からだにとりこまれることについて

2:消化や吸収について

*自分なりにノートにまとめてみましょう

○小腸から吸収された養分は、血液によって**肝臓**に運ばれます。肝臓は養分の一部を一時的にたくわえ、必要なときに、全身に送り出すはたらきがあります。(P39の図や文を参考に)